

# 第 1 号 議 案

## 令和 4 年度事業報告書

(令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日)

令和 4 年度当協会の事業等について報告いたします。

### 1 会員の状況

正会員 13 社 (前年度末比+1 社) (株)ヴィラ北軽井沢  
賛助会員 26 社 (前年度末比+1 社) (株)エンゼル

### 2 理事会・総会の開催

- 1 令和 4 年 5 月 17 日 (火) 東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、本年度第 1 回理事会並びに第 10 回通常総会を開催。

理事会議題 ① 令和 3 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件  
② 理事・監事任期到来による新理事・監事選任の件  
③ 令和 4 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件  
④ 総会で人事案承認後、理事互選により会長・副会長・常務理事を選出する件

総会議題 ① 令和 3 年度事業報告並びに収支決算報告承認の件  
② 理事・監事任期到来による新理事・監事選任の件  
③ 理事会開催後、理事互選による会長・副会長・常務理事決定の報告  
④ 令和 4 年度事業計画並びに収支予算審議承認の件

総会終了後、新年賀詞交歓会が新型コロナウイルスの感染拡大で開催できなかったため、懇親パーティーを開催。正会員、賛助会員、その他関係者約 85 名のご出席をいただきました。

- 2 令和 5 年 1 月 25 日 (水) 東京都江東区の東京ベイコート倶楽部ボールルームにて、本年度第 2 回理事会を開催。

理事会議題 ① 令和 4 年 12 月までの事業報告並びに収支状況報告の件  
② 新年度事業計画大綱検討の件

理事会終了後、新年賀詞交歓会を東京ベイコート倶楽部グランドボールルームにて開催。ご出席者は、正会員、賛助会員及びご来賓として経済産業省から 2 名の約 30 名でした。今回は、新型コロナウイルスの感染拡大対策として着座方式で実施しました。

### 3 協会の各種事業について

#### (1) 調査研究事業

##### 1 国内リゾートの歴史・風土・文化財及びそのエピソード等についての調査

前年度は、前前年度の㈱日本ハウスリゾート倶楽部の「ホテル森の風・那須」と「ホテル四季の館・那須」ホームページへの掲載が新型コロナウイルスの感染拡大の影響で大幅に遅れ、また感染が収束しなかったことから実施できませんでした。

今年度の調査は、12月14日～16日に㈱マグナ.リゾートの浜名湖レークサイドプラザとKIARAリゾートへの訪問・見学としました。現在、レポートを作成中です。

##### 2 タイムシェア研究会の開催

今年度も開催することは、できませんでした。

#### (2) 研修会・セミナー事業

##### 1 スタッフキャリアアップ研修講演会

今年度も、開催できませんでした。

##### 2 支配人・管理者研修会

対面で開催することに意義がある研修会と位置づけており、今年度も開催はできませんでした。

#### (3) 情報の収集と提供事業

##### 1 ホームページによる情報提供について

###### イ ホームページの更新

ホームページのアクセス数を上げるため、従来から協会内のできごと、研究会の報告や常務理事の訪問先の調査・研究紀行文等ホームページ情報を大谷理事中心に随時更新してきました。さらに9年前から「クラブライフのご提案」として、協会加盟会社のホテル訪問の調査研究レポートを大谷理事に執筆をお願いし、ホームページに掲載しております。又、消費者相談室から、悪質な業者情報について、随時お知らせすることとしていますが。現状、今年度は特に情報は入っておりません。

###### ロ 協会ホームページへのアクセス数

今年度の計画にも掲げましたが、スマートフォンでも対応が可能となるよう、従来の net commons から word press というコンテンツに変更しました。以前のものはスマホではほとんど字が小さすぎて見えませんでした。今回のものは非常に見やすくなったと思います。大谷先生の紹介で、工学院大学の先生にお願いしました。年度の途中で変更したため、アクセス数は把握できておりませんが、次年度以降は把握可能に設定しました。

## 2 クラブとの共催イベントの実施

新型コロナウイルスの感染拡大により、イベントを開催するクラブもなく実施できませんでした。

## 3 その他

・毎年恒例ですが、公益財団法人日本生産性本部よりレジャー白書についてのヒアリングがあり、それに対して情報提供を行いました。

・8月末に「日刊ゲンダイ」から会員制リゾートホテルについて電話で取材がありました。9月2日（金）にそれに関する特集記事が掲載されました。

## (4) リゾネット事業

本年度のリゾネット参加施設は12社、国内26施設（前年度比-3）でスタート。前期末にパンフレット19,000部（前年度比-1,000部）を配布済。

本年度のリゾネット利用者数（受入ベース）

4月	126	8月	561	12月	173
5月	231	9月	311	1月	170
6月	193	10月	278	2月	93
7月	314	11月	268	3月	171

本年度末までの利用者数合計 2,889名（前年同期比 +47.5%）

前年同期利用者数合計 1,959名

利用実績は昨年度を約1.5倍上回っているものの、新型コロナウイルスの感染拡大前の水準には至っておりません。全国割の追い風はあまりなさそうです。

こんな中でも、現状で送客の多いクラブは、セラヴィリゾート泉郷が大きく他を引き離してトップ、次いで鴨川リゾートクラブ、紀鉄クラブ。受入の多い施設は、断トツでヴィラ北軽井沢エルウイングです。

## (5) 消費者相談事業

取扱件数、内容は別紙のとおりで、昨年度に比べ増加しています。

今年度12月までの特徴としては、相変わらず会員権の処分についての相談が寄せられています。特に共有制会員権の会員企業についての相談が多くありました。しかも、消費者センター絡みの案件が多く、その案件ごとに各社の担当者と相談の上対応しました。

一般消費者に対しては、現状では、注意喚起情報の発信はありません。

#### 4 その他の事項

5月22日（金）令和3年度の監査（佐藤監事・朽本監事）を実施。

6月15日（水）内閣府公益認定等委員会へ「令和3年度の事業報告、収支決算報告、令和4年度の事業計画、収支予算」をネットにて提出。

10月24日（月）本年度上期の会計監査（佐藤監事）を実施。

以上

# 令和4年度収支計算書

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

単位:円

	科目	予算額	決算額	差異
収入の部	1.入会金収入	150,000	0	150,000
	正会員入会金	100,000	0	100,000
	賛助会員入会金	50,000	0	50,000
	2.会費収入	7,750,000	7,640,000	110,000
	正会員会費	5,100,000	5,040,000	60,000
	賛助会員会費	2,650,000	2,600,000	50,000
	3.事業収入	1,750,000	753,170	996,830
	調査・研究事業	0	0	0
	研修会・セミナー事業	500,000	0	500,000
	情報収集・提供事業	500,000	0	500,000
	倫理審査事業	0	0	0
	相互利用事業	750,000	753,170	△ 3,170
	消費者相談事業	0	0	0
	4.その他収入	500	281	219
	受取利息	500	281	219
	雑収入	0	0	0
5.公益事業推進基金より	1,770,000	1,769,442	558	
	収入合計	11,420,500	10,162,893	1,257,607

単位：円

	科目	予算額	決算額	差異
支 出 の 部	1.事業費	6,390,000	4,919,013	1,470,987
	調査・研究事業	1,500,000	1,245,744	254,256
	研修会・セミナー事業	1,000,000	509,941	490,059
	情報収集・提供事業	2,000,000	1,368,858	631,142
	倫理審査事業	0	0	0
	相互利用事業	1,400,000	1,310,840	89,160
	消費者相談事業	490,000	483,630	6,370
	2.管理費	3,209,000	2,588,103	620,897
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会議費	700,000	563,436	136,564
	旅費交通費	250,000	147,716	102,284
	通信費	35,000	25,720	9,280
	備品費	20,000	6,644	13,356
	消耗品費	100,000	52,670	47,330
	印刷費	5,000	0	5,000
	新聞図書費	5,000	0	5,000
	水道光熱費	14,000	9,559	4,441
	賃借料	420,000	409,420	10,580
	支払手数料	160,000	85,822	74,178
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	10,624	39,376
	諸雑費	300,000	126,492	173,508
	3.予備費	200,000	0	200,000
4.公益事業推進基金	0	0	0	
	支出合計	9,799,000	7,507,116	2,291,884
	当期収支差額	1,621,500	2,655,777	△ 1,034,277
	前期繰越収支差額	14,740,672	14,740,672	0
	次期繰越収支差額	16,362,172	17,396,449	△ 1,034,277

## 令和4年度正味財産増減計算書（令和4年4月1日～令和5年3月31日）

### I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
<b>【経常収益】</b>				
受取入会金		0	0	0
	正 会 員	0	0	0
	賛 助 会 員	0	0	0
受 取 会 費		7,640,000	5,220,000	2,420,000
	正 会 員	5,040,000	2,520,000	2,520,000
	賛 助 会 員	2,600,000	2,700,000	△ 100,000
事 業 収 益		753,170	779,410	△ 26,240
	調 査・研 究	0	0	0
	研修会・セミナー	0	0	0
	情報収集・提供	0	0	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	753,170	779,410	△ 26,240
	消費者相談	0	0	0
雑 収 益		281	271	10
	受 取 利 息	281	271	10
	雑 収 入	0	0	0
経常収益計		8,393,451	5,999,681	2,393,770
<b>【経常費用】</b>				
事 業 費		4,919,013	4,853,927	65,086
	調 査・研 究	1,245,744	1,285,668	△ 39,924
	研修会・セミナー	509,941	490,993	18,948
	情報収集・提供	1,368,858	1,282,499	86,359
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	1,310,840	1,310,993	△ 153
	消費者相談	483,630	483,774	△ 144
管 理 費		2,577,479	1,853,689	723,790
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会 議 費	563,436	0	563,436
	旅費交通費	147,716	89,892	57,824
	通 信 費	25,720	35,000	△ 9,280
	備 品 費	6,644	0	6,644
	消 耗 品 費	52,670	40,527	12,143
	印 刷 費	0	0	0
	新聞図書費	0	0	0
	水道光熱費	9,559	9,988	△ 429
	賃 借 料	409,420	327,140	82,280
	支払手数料	85,822	88,506	△ 2,684
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	0	10,624	△ 10,624
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	126,492	102,012	24,480
経常費用計		7,496,492	6,707,616	788,876
当期経常増減額		896,959	△ 707,935	1,604,894
当期経常外増減額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		896,959	△ 707,935	1,604,894
一般正味財産期首残高		17,058,751	17,766,686	△ 707,935
一般正味財産期末残高		17,955,710	17,058,751	896,959

### II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0

III 正味財産期末残高		17,955,710	17,058,751	896,959
--------------	--	------------	------------	---------

# 貸借対照表

(令和5年3月31日)

単位:円

	勘定科目		当年度	前年度	増減
	大科目	中科目			
資産の部	流動資産	現金	43,870	68,882	△ 25,012
		普通預金	5,626,289	5,374,876	251,413
		定期預金	14,000,000	11,000,000	3,000,000
		未収金	-	-	0
	流動資産合計		19,670,159	16,443,758	3,226,401
	特定資産	公益事業 推進基金	475,837	2,245,279	△ 1,769,442
		特定資産合計		475,837	2,245,279
	その他の固定資産	電話加入権	72,800	72,800	0
		その他の固定資産合計		72,800	72,800
	固定資産合計		548,637	2,318,079	△ 1,769,442
資産合計			20,218,796	18,761,837	1,456,959
負債の部	流動負債	預り金	2,263,086	1,703,086	560,000
		未払金	0	0	0
	流動負債合計		2,263,086	1,703,086	560,000
正味財産の部	正味財産	正味財産	17,955,710	17,058,751	896,959
	正味財産合計		17,955,710	17,058,751	896,959
負債及び正味財産合計			20,218,796	18,761,837	1,456,959



# 財 産 目 録

(令和5年3月31日)

単位:円

	勘 定 科 目		金 額	摘 要
	大 科 目	中 科 目		
資 産 の 部	流 動 資 産	現 金	43,870	手許現金
		普 通 預 金	5,626,289	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
		定 期 預 金	14,000,000	三菱UFJ銀行・新宿中央支店
	流 動 資 産 合 計		19,670,159	
	特 定 資 産	公益事業推進基金	475,837	定期預金(三菱UFJ銀行・新宿中央支店)
	その他の固定資産	電 話 加 入 権	72,800	電話加入権
	固 定 資 産 合 計		548,637	
資 産 の 合 計		20,218,796		
負 債 の 部	流 動 負 債	預 り 金	2,263,086	次年度会費他
	流 動 負 債 合 計		2,263,086	
	負 債 の 合 計		2,263,086	
正 味 財 産		17,955,710		

## 計算書類に対する注記

### 特定資産の増減額及びその残高(令和5年3月31日)

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産 公益事業推進基金	2,245,279	0	1,769,442	475,837
合 計	2,245,279	0	1,769,442	475,837

令和5年 4月 21日

## 監 査 報 告 書

一般社団法人日本リゾートクラブ協会

監事 佐藤 茂   
監事 柄本 雅尚 

第10期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、公益目的支出計画実施報告書その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により、監査方針を定めた上で、監事 佐藤 茂は会計帳簿の分野を中心に、監事 柄本 雅尚は法人業務の分野を中心に調査を行い、その結果を監事間で協議して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から職務の執行状況等について定期的に報告を受け、また随時説明を求めました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は、当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。
- (5) 公益目的支出計画実施報告書は、法令及び定款に従い、当法人の公益目的支出計画の実施状況を正しく表示しています。

以上

## 第 2 号 議 案

### 令 和 5 年 度 事 業 計 画 書

令和 4 年度の世界の状況は、新型コロナウイルスの感染拡大が一服した感があり、テレビでみる限りマスクを着けていない人が増えている様子が見えます。

また、ロシアがウクライナに侵攻するという驚くべきニュースが入ってきて 1 年が経過しました。そして、いまだ西側諸国の制裁措置にもかかわらず、解決のめどは立っておりません。世界経済も、原油や天然ガスの供給が停滞しエネルギーさらに物流面で大きな打撃を受けております。そのためわが国でもガソリン・重油等のエネルギー価格の高騰やロシア・ウクライナが小麦等の最大輸出国であることから、食料等の物価を押し上げ、国民生活を脅かしております。人道的見地からも早期に終結して欲しいものです。

わが国でも、新型コロナウイルスの感染はかなり収束に向かっており、3 月にはマスク装着の緩和措置がとられ、ウィルスも 5 月から従来の 2 類相当から 5 類に移行することになるそうです。そして、経済面においては 10 年間という長きにわたって異次元の金融緩和策をとってきた黒田東彦総裁が任期満了となり、新たに植田和男氏が後任となりますが、政策に特に変更がないとのことで緩和策が継続になりそうです。従って、当面は円安のまま推移すると思われ、輸入における物価の押し上げが続くことが予想されます。給与のベースアップのニュースもありますが、その恩恵を受けない方々や高齢者にとっては、当面厳しい生活が強いられます。

観光、宿泊等のサービス産業関係は、2 年以上 3 密を控えることや、不要不急の外出の自粛が叫ばれていたこともあり、大きな打撃を受けてきました。幸い、会員リゾートは、コロナ対策も万全という認知度が広がり、安心して泊まれるとの評価を得ていることや、従来海外に流れていた富裕層の国内回帰もあり、比較的影響が軽微であったようです。また、マイクロツーリズムと言われるホテルの近隣の旅行客を取り込む試みも行われ、好評のようです。

こうした中で、協会の果たすべき役割は、新型コロナウイルスの感染拡大の完全収束が前提になりますが、会員企業の経営安定のための情報の発信をしながら、リゾートクラブ産業の認知度及び信頼度のさらなる向上及び国民の皆様に、安心感、親しみ、気軽さをもっていただけるような業界のイメージアップ戦略の遂行です。そのため、リゾート業界をさらに活性化していく手段として、次のような具体策を計画しました。

令和 4 年度で平成 25 年一般社団法人に移行以来実施した公益目的支出計画の実施は完了しました。従って、今年度より、これに縛られない活動が可能となりますので、なお一層のご協力をお願いいたします。

## 1 調査研究事業

### リゾートライフ調査研究・情報提供

公益目的支出事業の継続事業として実施してきましたが、今後も引き続きリゾートライフ調査研究・情報提供事業を実施します。これは、国内リゾート地域の歴史、風土、文化及びその魅力等を調査研究し、リゾートクラブシステムを最大活用したその地域の楽しみ方を、ホームページに分かりやすく掲載・紹介していくことです。昨年度は、新型コロナウイルスの感染の隙を見つけて大谷理事と株式会社マグナ・リゾートの浜名湖レークサイドプラザと KIARA リゾートの見学をしました。現在、そのレポートをホームページに掲載する準備中です。今年度もまた大谷理事のご協力のもと、新型コロナウイルスの感染拡大の様子を勘案しながら、今まで実施していない会員企業の施設を視察する予定です。

また、「タイムシェア研究会」を一昨年から「リゾート会員権の流通・再利用の現況と展望」のテーマで開催しております。集まることができない現状、開催することが困難な状況が続きますが、重要且解決しなければならない問題を含んでおり、議論を継続していきたいと思っております。今年度は、そのヒントとなりうるリゾートトラスト株式会社が販売を開始している 50 年借地権付き会員権についての研究会の開催を考えております。

## 2 研修会・セミナー事業

### (1) ホテルスタッフ・管理部門対象の研修会の開催

昨年度もスタッフのキャリアアップを目的とした研修講演会を実施できませんでした。新型コロナウイルスの感染の状況次第ですが、本年度はスタッフ向けの研修会開催を検討します。

### (2) 支配人・管理者研修会の開催

昨年度も、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催できませんでした。本来この研修会は対面で実施してこそ有意義なものと考えておりますが、今年度は朽本教育委員長や講師の先生とも協議の上、実験的にオンラインで開催することを予定しております。支配人及び管理者のマネジメント能力、掌握力、社会性を高めるための研修会であり、対象となる多くの方々に受講をお願いいたします。

## 3 情報の収集と提供事業

### (1) 会員制リゾートクラブ事業者の情報収集

現在国内で営業を継続している会員制リゾートクラブ事業者（会員各社も）についての情報を収集し、様々な資料を収集していくことはもちろん、その集めた資料を、ホームページを使って発信します。

## (2) ホームページによる情報の提供

当協会のホームページは、加盟クラブを主体としたリゾートクラブの包括的なホームページという特徴があり、情報媒体としての広告価値が高いものと考えております。大谷理事を中心に更新作業を実施しておりますが、訪問数は着実に増加しております。今年度も関係者の意見を集約し、ページ内容を強化するとともに、スマートフォン向けのコンテンツを含め、常に最新性を保つよう随時更新して、魅力ある情報を発信し続けることとします。

## (3) 新聞雑誌への広報等

新聞やテレビ・ラジオ等からの取材依頼についても積極的に対応し、会員制リゾートクラブの情報発信を続けていきます。毎年、日本生産性本部の「レジャー白書」への情報提供も続けております。

## (4) 共催イベントの開催

新型コロナウイルスの感染拡大により、現状ほとんど開催は困難な状況です。しかしながら、感染状況次第となりますが、新たなリゾートのファンを呼び込むためにも開催できることを願っています。

## 4 消費者相談事業

公益目的支出計画の継続事業として実施してきた消費者情報提供事業を引き続き同様に実施します。

事業の内容としては、

- ① 会員制リゾートクラブへの入会に関する注意点の照会・相談対応
- ② 会員権の売買や譲渡に関する相談対応
- ③ 個別のリゾート事業者についての照会・相談対応
- ④ リゾート会員権に関する相談の中から、ホームページを通じてトラブル情報の発信

また、会員企業各社や消費者庁の国民生活センターとも情報を共有し、悪質な業者の排除に努めていきます。

## 5 相互利用事業

### リゾネット事業

リゾネットは、協会加盟クラブの差別化策として、会員に大変好評で有意義なものであり、会員との結びつきを強化する事業となっております。令和 5 年度は、令和 4 年度と同様の実施となります。今後リゾネット協議会での提案を踏まえた改善策の実現、ホームページ活用による施設ごとのタイムリーな情報提供により、さらに利用の促進を図る計画です。早く、新型コロナウイルスの感染前の水準に戻って欲しいものです。

## 6 その他重点事項

### (1) 会員組織の拡大策

業界全体からみれば正会員については、新規に参入する企業も少なく、さらなる会員の増強は厳しい状況です。

その中で、未加入の健全な会員制リゾート事業者へのアプローチを続けることはもちろん、会員以外の会社に対して研修会等の行事に門戸を拓げるなどの方策により、正会員、賛助会員の新規入会促進への活動を推進します。

### (2) 委員会機能の強化

時代の流れが速く、種々の課題が発生することに備え、合同委員会や各種協議会の機能を強化し、それらにスピーディーに対応できる相互協力体制を構築します。

協会の運営は、事務局 1 名体制で、活動にも限界があり、会員各社よりの提案・提言が必要となります。

# 令和5年度予算書

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位:円)

## (収入の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差異
<b>1.入会金収入</b>		<b>150,000</b>	<b>150,000</b>	<b>0</b>
	正会員	100,000	100,000	0
	賛助会員	50,000	50,000	0
<b>2.会費収入</b>		<b>7,750,000</b>	<b>7,750,000</b>	<b>0</b>
	正会員	5,100,000	5,100,000	0
	賛助会員	2,650,000	2,650,000	0
<b>3.事業収入</b>		<b>1,750,000</b>	<b>1,750,000</b>	<b>0</b>
	調査・研究	0	0	0
	研修会・セミナー	500,000	500,000	0
	情報収集・提供	500,000	500,000	0
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	750,000	750,000	0
	消費者相談	0	0	0
<b>4.その他収入</b>		<b>475,300</b>	<b>1,770,500</b>	<b>△ 1,295,200</b>
	受取利息	300	500	△ 200
	雑収入	0	0	0
	公益事業推進基金から	475,000	1,770,000	△ 1,295,000
<b>収入合計</b>		<b>10,125,300</b>	<b>11,420,500</b>	<b>△ 1,295,200</b>



## (支出の部)

科目	内訳	予算額	前年度予算額	差額
<b>1.事業費</b>		<b>6,390,000</b>	<b>6,390,000</b>	<b>0</b>
	調査・研究	1,500,000	1,500,000	0
	研修会・セミナー	1,000,000	1,000,000	0
	情報収集・提供	2,000,000	2,000,000	0
	倫理審査	0	0	0
	相互利用	1,400,000	1,400,000	0
	消費者相談	490,000	490,000	0
<b>2.管理費</b>		<b>3,059,000</b>	<b>3,209,000</b>	<b>△ 150,000</b>
	給与・手当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会議費	500,000	700,000	△ 200,000
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通信費	35,000	35,000	0
	備品費	20,000	20,000	0
	消耗品費	150,000	100,000	50,000
	印刷費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	14,000	0
	賃借料	420,000	420,000	0
	支払手数料	160,000	160,000	0
	諸謝費	0	0	0
	租税公課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸雑費	300,000	300,000	0
<b>3.予備費</b>		<b>200,000</b>	<b>200,000</b>	<b>0</b>
<b>4.公益事業推進基金</b>		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
<b>支出合計</b>		<b>9,649,000</b>	<b>9,799,000</b>	<b>△ 150,000</b>
<b>当期収支差額</b>		<b>476,300</b>	<b>1,621,500</b>	<b>△ 1,145,200</b>
<b>前期繰越収支差額</b>		<b>16,362,172</b>	<b>14,740,672</b>	<b>1,621,500</b>
<b>次期繰越収支差額</b>		<b>16,838,472</b>	<b>16,362,172</b>	<b>476,300</b>

## 令和5年度収支予算書（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

### I 一般正味財産増減の部

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
大 科 目	中 科 目			
<b>【経常収益】</b>				
受取入会金		150,000	150,000	0
	正 会 員	100,000	100,000	0
	賛 助 会 員	50,000	50,000	0
受 取 会 費		7,750,000	7,750,000	0
	正 会 員	5,100,000	5,100,000	0
	賛 助 会 員	2,650,000	2,650,000	0
事 業 収 益		1,750,000	1,750,000	0
	調 査・研 究	0	0	0
	研 修 会・セ ミ ナ	500,000	500,000	0
	情 報 収 集・提 供	500,000	500,000	0
	倫 理 審 査	0	0	0
	相 互 利 用	750,000	750,000	0
	消 費 者 相 談	0	0	0
雑 収 益		475,300	1,770,500	△ 1,295,200
	受 取 利 息	300	500	△ 200
	雑 収 入	475,000	1,770,000	△ 1,295,000
経常収益計		10,125,300	11,420,500	△ 1,295,200
				0
<b>【経常費用】</b>				
事 業 費		6,390,000	6,390,000	0
	給与手当	2,520,000	2,520,000	0
	法定福利費	0	0	0
	旅費交通費	700,000	700,000	0
	通信費	300,000	300,000	0
	備品費	80,000	80,000	0
	消耗品費	25,000	25,000	0
	会議費	600,000	600,000	0
	印刷費	900,000	900,000	0
	水道光熱費	30,000	30,000	0
	賃借料	745,000	745,000	0
	諸謝費	250,000	250,000	0
	諸雑費	240,000	240,000	0
管 理 費		3,059,000	3,209,000	△ 150,000
	給 与・手 当	1,080,000	1,080,000	0
	法定福利費	0	0	0
	会 議 費	500,000	700,000	△ 200,000
	旅費交通費	250,000	250,000	0
	通 信 費	35,000	35,000	0
	備 品 費	20,000	20,000	0
	消 耗 品 費	150,000	100,000	50,000
	印 刷 費	5,000	5,000	0
	新聞図書費	5,000	5,000	0
	水道光熱費	14,000	14,000	0
	賃 借 料	420,000	420,000	0
	支払手数料	160,000	160,000	0
	諸 謝 費	0	0	0
	租 税 公 課	70,000	70,000	0
	情報交流費	50,000	50,000	0
	諸 会 費	0	0	0
	諸 雑 費	300,000	300,000	0
予備費		200,000	200,000	0
経常費用計		9,649,000	9,799,000	△ 150,000
経常増減額		476,300	1,621,500	△ 1,145,200
経常外増減額		△ 475,000	△ 1,770,000	1,295,000
一般正味財産増減額		1,300	△ 148,500	149,800
一般正味財産期首残高		16,910,251	17,058,751	△ 148,500
一般正味財産期末残高		16,911,551	16,910,251	1,300

### II 指定正味財産増減の部

当期指定正味財産増減額		0	0	0
指定正味財産期首残高		0	0	0
指定正味財産期末残高		0	0	0
				0
III 正味財産期末残高		16,911,551	16,910,251	1,300